

平成26年5月23日
九州地方整備局
川辺川ダム砂防事務所
球磨村

大規模土砂災害を想定した避難訓練を行います

球磨村高沢地区において、出水期を前に大規模土砂災害を想定した避難訓練を行います。実際に住民の方に歩いて頂くことにより災害時の「備え」についてみんなで考え、自助・共助・公助に役立てていきます。

記

- 日時：平成26年5月29日（木）17：30～19：00（予定）
- ①17：30～ 避難訓練
 - ②18：00～ 意見交換
- 場所：球磨郡球磨村神瀬高沢（高沢地区）
- ①避難訓練：高沢観音堂前スタート
（高沢観音堂前から旧高沢小学校までの約400mを歩く）
 - ②意見交換：高沢集会所
- 内容：1）大規模土砂災害を前提とした際に、避難場所として利用を予定している「旧高沢小学校」まで実際に歩いて安全に確実な避難行動ができるかなど確認を行う。
- 2）今回、平常時に実際歩いたことにより、災害時に避難した場合を想定し、どんなところに課題等があるかなど、住民の方と意見交換を行う。

※6月は土砂災害防止月間です。6月5日（木）には土砂災害防止「全国の集い」in熊本が開催されます。（別添参照）

お問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所
技術副所長 満崎 晴也（みつぎき せいや）
工務第二課長 原田 隆二（はらだ りゅうじ）
電話 （0966）23-3174（代表）

球磨村 総務企画課
総務企画課長 薮 敦己（しとみ あつみ）
総務企画課主幹 永椎 樹一郎（ながしい きいちろう）
電話 （0966）32-1111（代表）

球磨村高沢地区（球磨郡球磨村神瀬高沢）

別紙



全国の集い 土砂災害防止

in 熊本

CPD認定講習対象(「全国の集い」、現地研修会)
CPDS認定講習対象(現地研修会)

あなたの住まいの土砂災害リスク
ご存知ですか



土石流に押しつぶされた家屋(熊本県南阿蘇村新所地区)



土砂災害を想定した避難訓練(熊本県下益城郡美里町)



土砂災害に関する講習会の開催(熊本県下益城郡美里町)

テーマ

土砂災害の激甚化に備える

基調講演

「国土強靱化と国土保全」

パネルディスカッション

「土砂災害の激甚化に備える」

後援

内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)砂防広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、熊本県治水砂防協会、(一社)熊本県建設業協会、(一社)熊本県法面保護協会、(一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会、(一社)熊本県地質調査業協会、熊本県市長会、熊本県町村会、熊本県砂防ボランティア協会、(一財)熊本県消防協会、熊日、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791、JCNくまもと

6月5日 木 13:30~17:00

一般参加
入場無料
当日受付可

会場 市民会館崇城大学ホール

主催 国土交通省、熊本県

お問合せ先 「全国の集い」運営委員会事務局(熊本県 土木部 砂防課内)
(電話) 096-333-2553

6月5日 木 土砂災害防止「全国の集い」

CPD認定講習対象

11:00～12:00 **連携行事** 平成26年度砂防ボランティア「全国のつどい」 崇城大学ホール(大会議室)

- 12:00 ■開 場 (ドアオープン) / 市民会館崇城大学ホール (大ホール)
- 12:30 ■ポスターセッション『全国からのイチオシ土砂災害対策事例報告』(60分)
※各県、直轄砂防関係事務所の土砂災害対策事例のポスター展示及び解説
※会場：2階「ホワイエ」
- 13:30 ■開会式典 (40分)
○挨拶：国土交通大臣、熊本県知事、熊本市長
○土砂災害防止功労者表彰
- 14:10 (休憩) (10分)
- 14:20 ■基調講演『国土強靱化と国土保全』(60分)
講演者：藤井 聡 (京都大学大学院工学研究科教授、内閣官房参与)
- 15:20 (休憩) (10分)
- 15:30 ■パネルディスカッション『土砂災害の激甚化に備える』(90分)

《ねらい》
熊本県の土砂災害の特徴を踏まえた教訓・課題を抽出し、今後、防災関係行政に求められる対応・取り組みや組織ごとの役割分担、速やかな住民避難を実現するための具体的な方策について、意見交換をおこなうものです。

コーディネーター 松本 浩司(NHK解説委員)
パネリスト 竹内裕希子(熊本大学大学院自然科学研究科准教授)
作田 潤一(南阿蘇村立久木野中学校長)
西川 裕(熊本県津奈木町長)
川辺 尚也(熊本県五木村保健福祉課長)
コメンテーター 北園 芳人(熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター特任教授)
大野 宏之(国土交通省砂防部長)
- 17:00 ■閉 会 挨拶：熊本県土木部長

■開催趣旨

近年全国各地で集中豪雨や地震・火山活動に伴い土砂災害が激甚化する傾向にあり、平成25年の台風26号は、伊豆大島の三原山麓に死者・行方不明者39名の大規模な土砂災害をもたらしました。

このように、気候変動による台風の大規模化、南海トラフ巨大地震、火山噴火等による大規模自然災害等の発生が懸念される中、国においては、東日本大震災等の教訓を踏まえ、大規模自然災害等から国民の生命・財産等を守るための施策を推進することとしています。

熊本県は、阿蘇の火山堆積物や中央構造線の影響を受けた九州山地など急峻な地形かつ脆弱な地質であり、そのため県内全域に土砂災害危険箇所が分布しています。これまで、火山噴火や豪雨などにより、平成24年九州北部豪雨災害、平成15年水俣土石流災害、平成2年一の宮町の災害など阿蘇地域をはじめ水俣、球磨、天草地域など、県内各地で土石流やがけ崩れ、深層崩壊などによる多数の犠牲者を出す土砂災害が繰り返し発生してきました。

本年の「全国の集い」は、土砂災害が多発する熊本県で、土砂災害の激甚化の実態を踏まえ、自助・共助・公助や国・地方公共団体等の適切な連携と役割分担、リスクコミュニケーションやコミュニティ機能の向上等による避難体制の強化などにより、土砂災害から生命・財産を守るための施策の方向性や予防的避難など具体的な取り組みについて知見を共有するとともに意見交換を行い、行政や地域住民等における更なる取組の強化に資することを目的として、6月1日から30日まで実施される土砂災害防止月間(運動テーマ：みんなで防ごう土砂災害)の主要行事の一つとして開催します。

18:00～20:00 **意見交換会** 熊本交通センターホテル

6月6日 金 現地研修会

CPD認定講習対象
CPDS認定講習対象

A 菊池・阿蘇コース (九州北部豪雨体験者講話、施設効果、災関緊急事業など)
08:30 市民会館崇城大学ホール前出発→9:30～10:00 孤塚川1災関事業(菊池市旭志)→11:00～12:00 新所川3災関事業(南阿蘇村新所)→15:30 阿蘇くまもと空港→16:30 熊本駅

B 五木コース (横手谷深層崩壊跡地、緊急調査デモ・体験など)
08:30 市民会館崇城大学ホール前出発→10:30～12:00 五木村横手谷深層崩壊跡地見学・周辺にて緊急調査デモ、体験、機器等の展示→15:30 阿蘇くまもと空港→16:30 熊本駅



(上)孤塚川1号堰堤、(下)新所川3号堰堤 (Aコース)

(上)昭和38年横手谷深層崩壊 (下)横手谷公園災害復興記念碑と位置情報の伝達訓練 (Bコース)

◎参加申込み要領

■一般参加のみなさま

6月5日については、事前の申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

■行政担当者(国・都道府県・市町村)、砂防ボランティア、砂防工事関係者のみなさま

別紙参加申込み要項をよくお読みいただき、申込書(兼回答書)に必要な事項をご記入の上、ファックスもしくはe-mail、郵送にて、お申し込みください。

《参加登録締め切り 平成26年5月9日(金)》

参加申込み要項、申込書(兼回答書)は熊本県砂防課ホームページからもダウンロードできます。

熊本県砂防課 URL
<http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/138/>

【参加費】

- ①ポスターセッション、式典、基調講演及びパネルディスカッション…無料
- ②現地研修会

- Aコース ￥5,400 (昼食代を含む・税込み)
- Bコース ￥5,400 (昼食代を含む・税込み)

※参加希望者数が20名に満たないコースは、開催を断念する場合がございますことを予めご了承ください。

- ③意見交換会 ￥5,000 (税込み)

【宿泊手配】

申込書により手配可能です。